

6 防 災 対 策

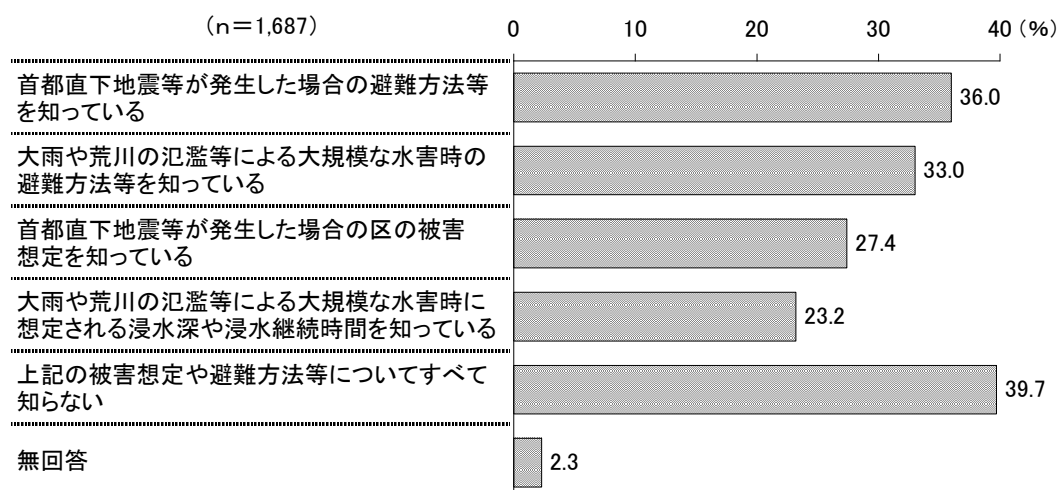
-
- 6－1 震災時や大規模水害時の被害想定と避難方法
 - 6－2 家庭で行っている防災対策
 - 6－3 参加意向のある防災活動
 - 6－4 防災対策についての要望
-

6－1 震災時や大規模水害時の被害想定と避難方法

- 「首都直下地震等が発生した場合の避難方法等を知っている」が3割台半ば

問14 あなたがお住まいの地域における震災時や大規模水害時の被害想定と避難方法等についてお聞きします。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

図 6－1－1



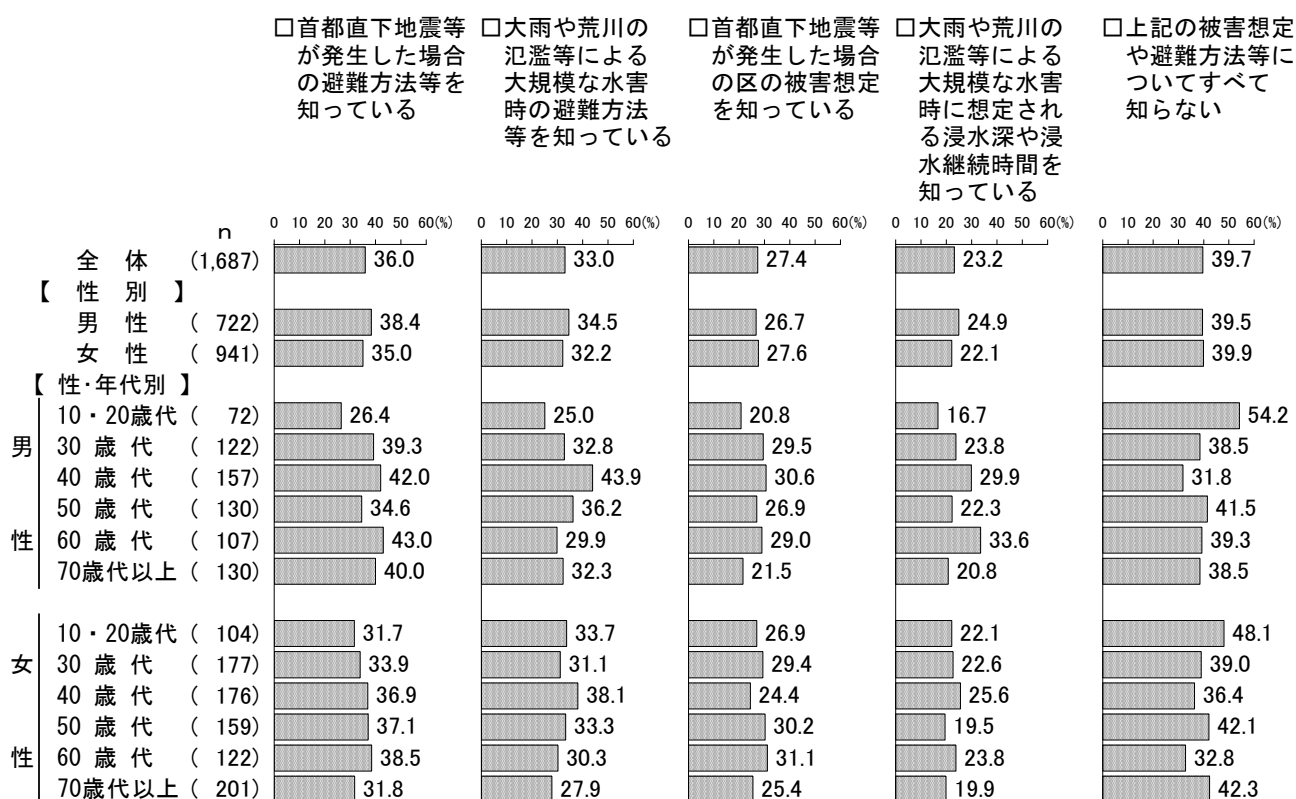
震災時や大規模水害時の被害想定と避難方法等について聞いたところ、「首都直下地震等が発生した場合の避難方法等を知っている」（36.0%）が3割台半ばで最も高く、次いで「大雨や荒川の氾濫等による大規模な水害時の避難方法等を知っている」（33.0%）、「首都直下地震等が発生した場合の区の被害想定を知っている」（27.4%）となっている。一方、「上記の被害想定や避難方法等についてすべて知らない」（39.7%）は4割となっている。（図 6－1－1）

性別でみると、「首都直下地震等が発生した場合の避難方法等を知っている」は男性が女性より3.4ポイント高くなっている。

性・年代別でみると、「首都直下地震等が発生した場合の避難方法等を知っている」は男性の40歳代、60歳代、70歳代以上で4割台と高くなっている。「大雨や荒川の氾濫等による大規模な水害時の避難方法等を知っている」は男性40歳代で4割を超えて高くなっている。「上記の被害想定や避難方法等についてすべて知らない」は男性10・20歳代で5割台半ばと高くなっている。

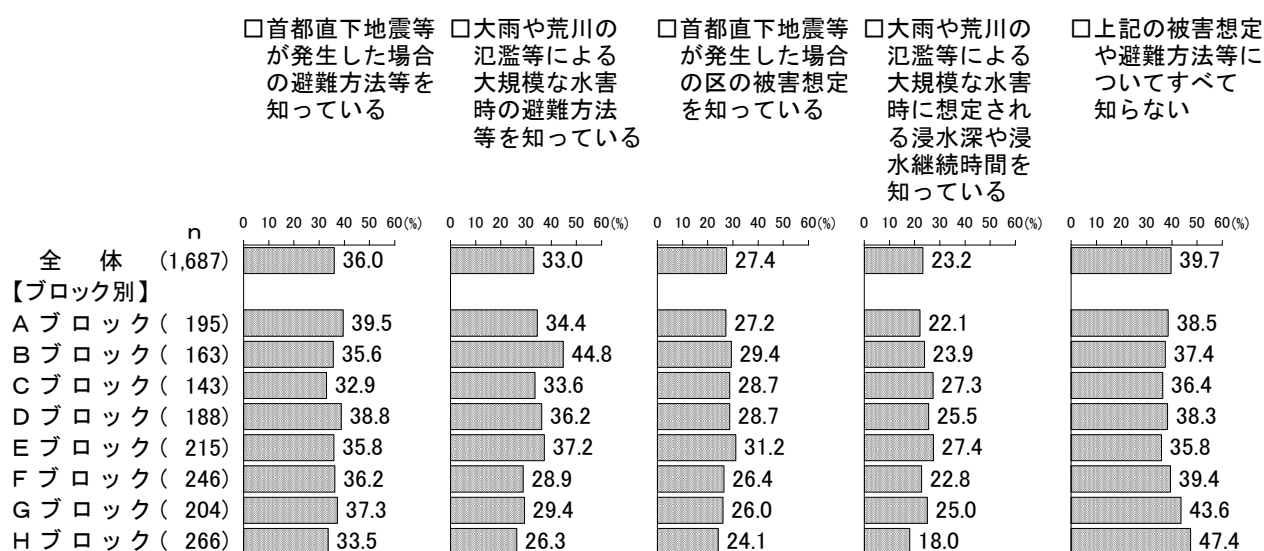
(図6-1-2)

図6-1-2 性別、性・年代別 震災時や大規模水害時の被害想定と避難方法



ブロック別でみると、「首都直下地震等が発生した場合の避難方法等を知っている」はAブロックで4割と高くなっている。「大雨や荒川の氾濫等による大規模な水害時の避難方法等を知っている」はBブロックで4割台半ばと高くなっている。「上記の被害想定や避難方法等についてすべて知らない」はHブロックで5割近くと高くなっている。(図6-1-3)

図6-1-3 ブロック別 震災時や大規模水害時の被害想定と避難方法

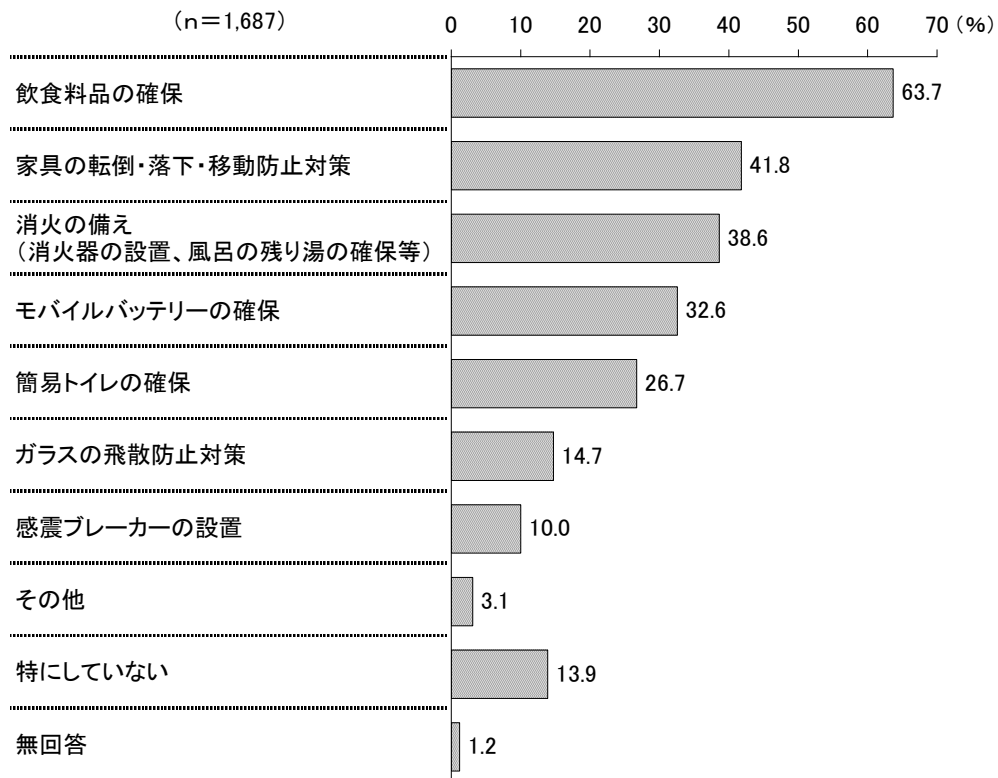


6－2 家庭で行っている防災対策

- 「飲食料品の確保」が6割を超える

問15 あなたは、災害に備えて家庭でどのような備えを行っていますか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

図 6－2－1

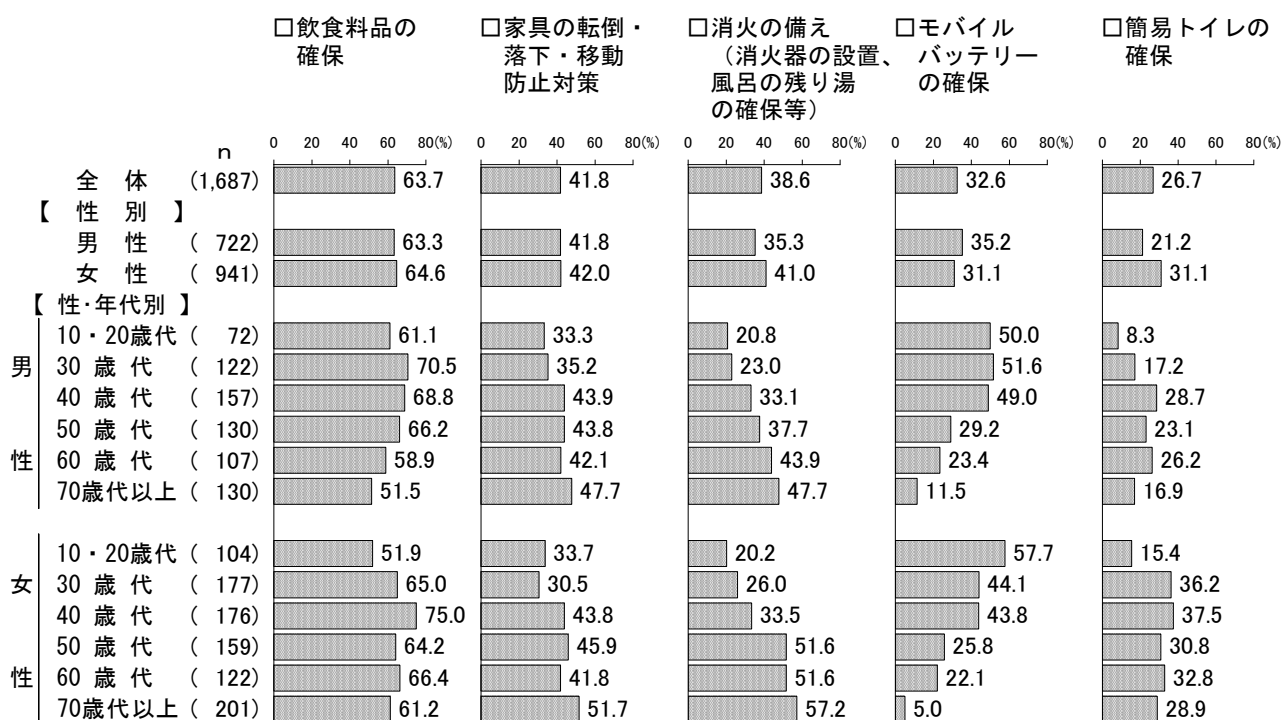


災害に備えて家庭でどのような対策を行っているかを聞いたところ、「飲食料品の確保」(63.7%)が6割を超えて最も高く、次いで「家具の転倒・落下・移動防止対策」(41.8%)、「消火の備え(消火器の設置、風呂の残り湯の確保等)」(38.6%)、「モバイルバッテリーの確保」(32.6%)となっている。一方、「特にしていない」(13.9%)は1割を超えている。(図6－2－1)

性別でみると、「簡易トイレの確保」は女性が男性より9.9ポイント高くなっている。一方、「モバイルバッテリーの確保」は男性が女性より4.1ポイント高くなっている。

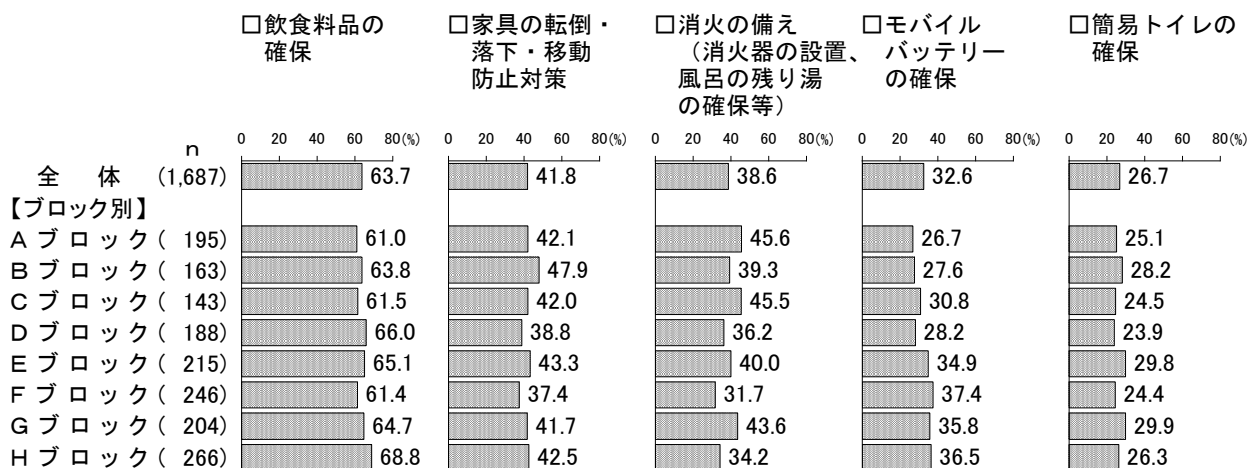
性・年代別でみると、「飲食料品の確保」は女性40歳代と男性30歳代で7割台と高くなっている。「モバイルバッテリーの確保」は女性10・20歳代で6割近くと高くなっている。(図6-2-2)

図6-2-2 性別、性・年代別 家庭で行っている防災対策（上位5項目）



ブロック別でみると、「飲食料品の確保」はHブロックで7割近くと高くなっている。「家具の転倒・落下・移動防止対策」はBブロックで5割近くと高くなっている。(図6-2-3)

図6-2-3 ブロック別 家庭で行っている防災対策（上位5項目）

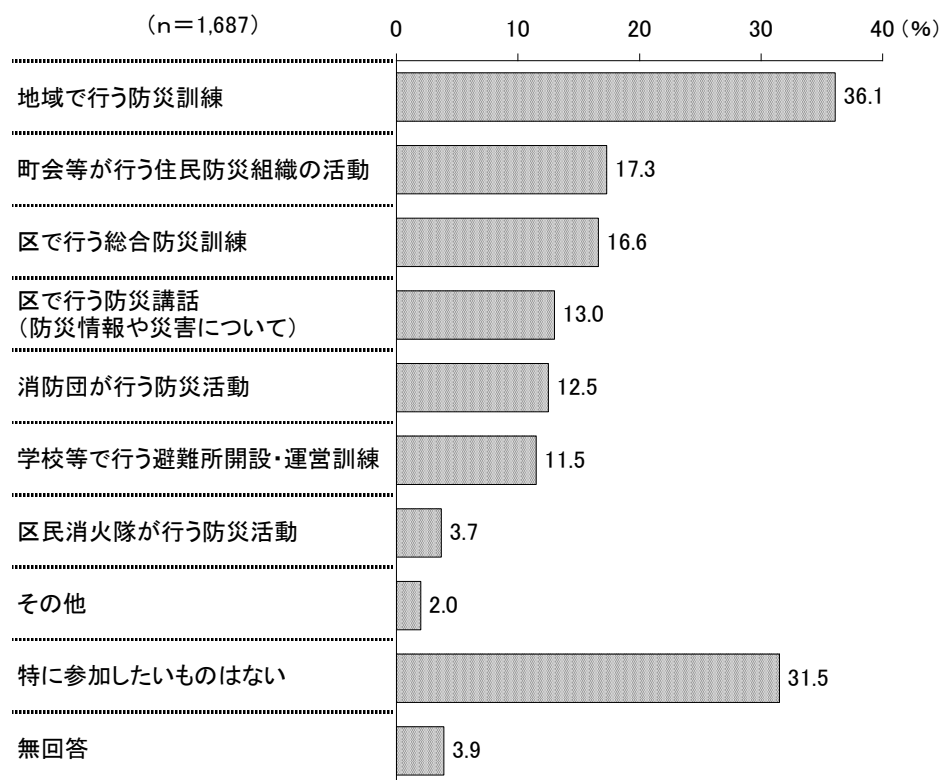


6－3 参加意向のある防災活動

- 「地域で行う防災訓練」が3割台半ば

問16 あなたは、どのような内容の防災活動に参加したいと思いますか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

図 6－3－1



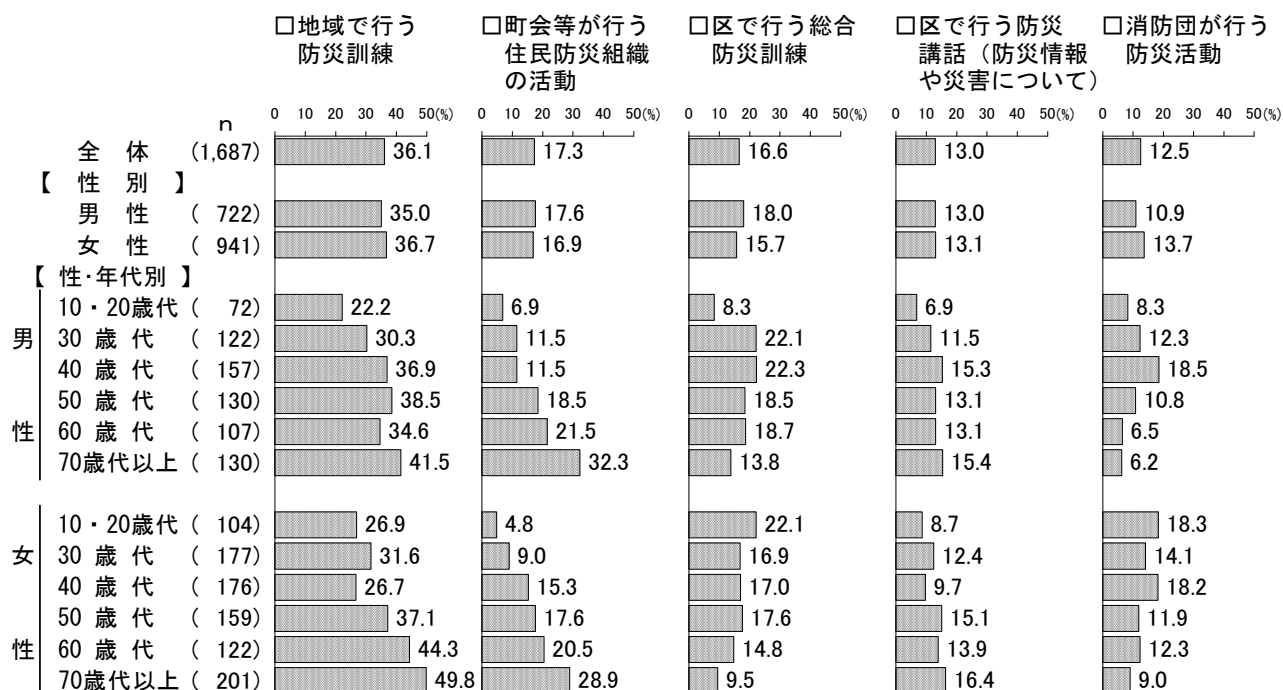
参加したい防災活動を聞いたところ、「地域で行う防災訓練」(36.1%)が3割台半ばで最も高く、次いで「町会等が行う住民防災組織の活動」(17.3%)、「区で行う総合防災訓練」(16.6%)、「区で行う防災講話(防災情報や災害について)」(13.0%)となっている。一方、「特に参加したいものはない」(31.5%)は3割を超えている。(図6－3－1)

性別でみると、男女間で大きな差はみられない。

性・年代別でみると、「地域で行う防災訓練」は女性70歳代以上で5割と高くなっている。「町会等が行う住民防災組織の活動」は男性70歳代以上で3割を超えて高くなっている。「区で行う総合防災訓練」は男性の30歳代と40歳代、女性10・20歳代で2割を超えて高くなっている。

(図6-3-2)

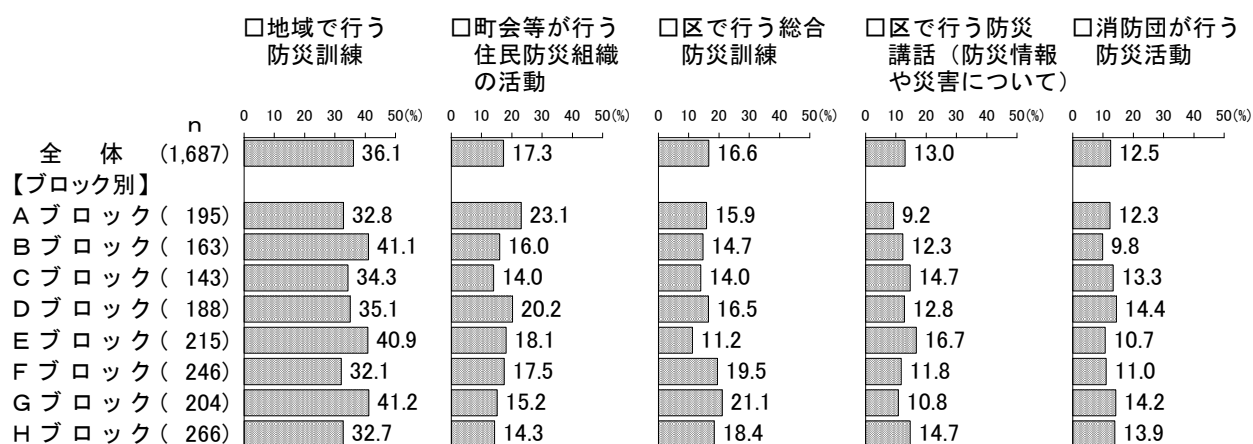
図6-3-2 性別、性・年代別 参加意向のある防災活動（上位5項目）



ブロック別でみると、「地域で行う防災訓練」はB・E・Gブロックで4割台と高くなっている。「町会等が行う住民防災組織の活動」はA・Dブロックで2割台と高くなっている。

(図6-3-3)

図6-3-3 ブロック別 参加意向のある防災活動（上位5項目）

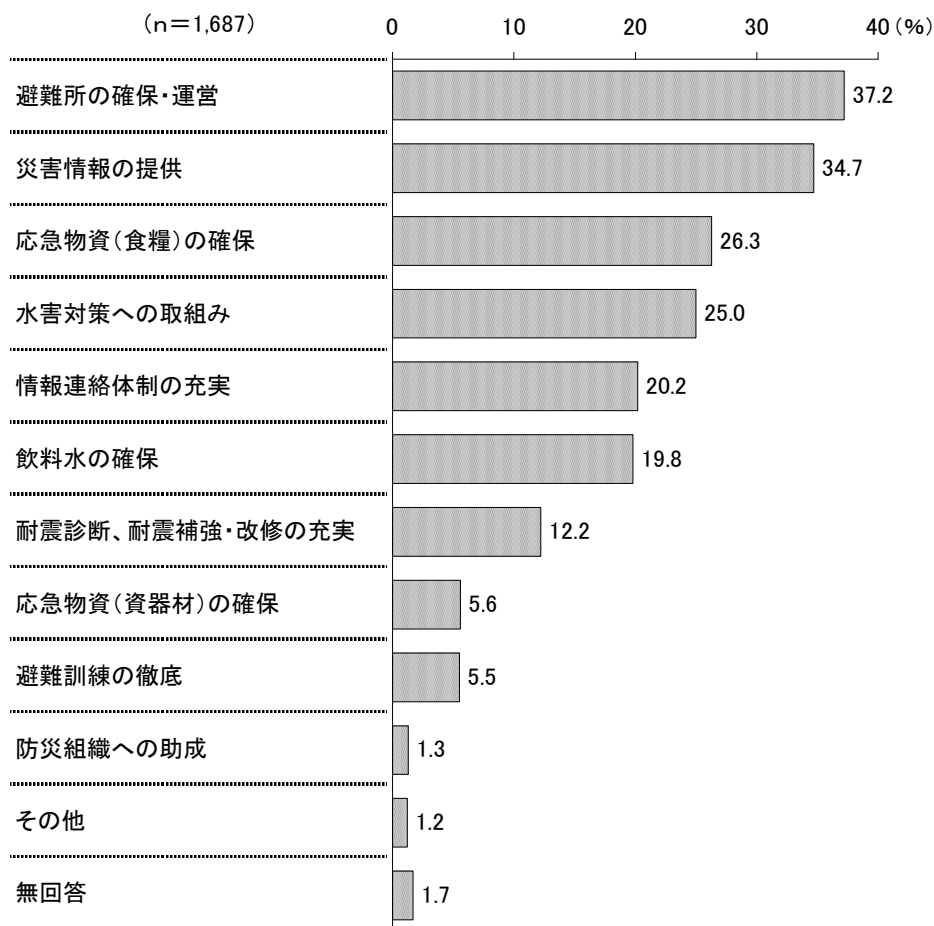


6－4 防災対策についての要望

- 「避難所の確保・運営」が4割近く

問17 あなたが区の防災対策として力を入れてほしいと思うことはどのようなことですか。次の中からあてはまるものを2つ以内で選んでください。

図 6－4－1



防災対策として力を入れてほしいと思うことを聞いたところ、「避難所の確保・運営」(37.2%)が4割近くで最も高く、次いで「災害情報の提供」(34.7%)、「応急物資(食糧)の確保」(26.3%)、「水害対策への取組み」(25.0%)となっている。(図 6－4－1)

ブロック別でみると、「避難所の確保・運営」はBブロックで4割台半ばと高くなっている。「災害情報の提供」はFブロックで約4割と高くなっている。「水害対策への取組み」はEブロックで3割台半ばと高くなっている。（図6-4-2）

図6-4-2 ブロック別 防災対策についての要望（上位10項目）

